

## カンボジア王国・プノンペン都における下水・排水施設管理能力の向上プロジェクト JICA草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）の採択について

“姉妹都市協定締結後、下水道分野で初となる技術協力事業が始まります”

- 本市上下水道局よりJICAへ提案していた「カンボジア王国プノンペン都との技術協力」（JICA草の根技術協力事業（地域活性化特別枠））が平成28年7月20日に実施案件として内定しました。
- 本事業は、本市とプノンペン都の姉妹都市協定締結後、初めての下水道技術協力事業です。プノンペン都の下水道の持続的発展と浸水被害の軽減に向け、市民意識の向上と下水・排水施設の適切かつ効率的な維持管理を目指すことを目的に実施します。
- 実施にあたっては、北九州市海外水ビジネス推進協議会、市内NPO・地元大学と連携して、プノンペン都公共事業運輸局の担当者（下水道担当技術者）を本市で受け入れ研修を行うとともに、指導者を現地に派遣して下水排水施設の維持管理能力向上に係わる技術協力を行います。
- 今後、プノンペン都では処理場の建設を含む下水道整備が本格化します。本市は、今回の技術協力を足がかりに、詳細設計や施設整備、維持管理等、水ビジネスの展開を目指します。

### 1 背景

カンボジア王国は、ASEANの東南アジア地域に加盟（1999年）以降、目覚ましい経済発展を遂げる一方、急激な発展による都市開発や人口増加に伴い、プノンペン都の水環境問題が顕在化しています。プノンペン都においては、日本の無償資金協力事業（2002～2015年）などで都市部の治水・排水対策が行われてきました。その対策により、一定の成果が上がっていますが、予想を上回る都市化の進展や短期的な集中豪雨などにより、市民の安全・安心を脅かす浸水被害が今も続いている状況です。

### 2 プノンペン都下水道の課題

排水機場（ポンプ場）の維持管理については、適切な点検管理が行われていない状況であり、下水道管渠や水路の維持管理についても不十分な状況です。また、流入する土砂や不法投棄によるゴミの堆積も激しく、浸水被害を大きくしている一因となっています。

### 3 草の根事業内容

本市上下水道局は、JICA草の根技術協力事業のスキームを使い、下記の内容について研修員（10名）を受け入れて、上下水道局職員（4名）と北九州市海外水ビジネス推進協議会会員企業の業務従事者（2名）、市内NPO・大学（2名）を現地に派遣する予定です。

- ① 排水施設（ポンプ）の維持管理マニュアル作成
- ② 市民・関係機関と協働で行う浸水ハザードマップ作成
- ③ 市民意識の向上を図る環境学習の実施

### 4 事業期間（予定）平成28年11月～平成31年10月（3年）

### 5 事業費 約5,000万円

### 6 事業実施体制

日本側：北九州市上下水道局  
カンボジア側：プノンペン都公共事業運輸局



【お問い合わせ】

上下水道局海外事業課  
草野、神野 582-2012

## カンボジア国プノンペン都における北九州市上下水道分野の関わりについて

## 1. 上水道

## ➤ 経 過

本市とプノンペン水道公社（PPWSA）との間で技術協力事業を実施

個別専門家の派遣	1999～ 2002年	専門家派遣：延べ4名
JICA 小規模開発パートナー事業	2001～ 2002年	専門家派遣：延べ8名
JICA 人材育成プロジェクト (フェーズ1)	2003～ 2006年	専門家派遣：延べ18名 研修員受入れ：20名

※2011年、本市と鉦工業エネルギー省（MIME：現「工業手工芸省（MIH）」）との間で「主要9都市の水道整備基本計画に係る覚書」を締結。

同時に、本市とPPWSAとの間で同事業の実施に係る連携に関する覚書を締結。

## ➤ 現在進行中の主な協力事業

人材育成プロジェクト (フェーズ2・フェーズ3)	2007～ 2017年	本市とPPWSAの専門家が協力して地方主要9都市における技術力・経営管理能力向上を支援中
-----------------------------	----------------	--

## 2. 下水道

## ➤ 経 過

JICA プノンペン都下水・排水改善プロジェクト詳細計画策定調査を支援

専門家の派遣	2014年	専門家派遣：延べ1名
--------	-------	------------

## ➤ 現在進行中の主な協力事業

JICA プノンペン都市下水・排水改善プロジェクトの支援	2014～ 2016年	汚水対策・排水改善のマスタープラン策定を支援中（人材育成）
JICA 草の根技術協力事業 (今回採択)	2016～ 2019年	排水施設（ポンプ）の維持管理マニュアル作成や市民啓発のノウハウをプノンペン都に技術移転

※マスタープランの策定（2016.9 予定）後は、下水道施設の詳細設計や処理場整備などが本格化することが予測される。草の根技術協力事業での交流と併せて、JICAや国土交通省などの関係機関と緊密に連携し、下水道整備に向けた技術支援、ビジネス展開を目指す。

## プノンペン都及びカンボジア王国の概要

### 1 プノンペン都

(1) 人 口：約200万人（2014年）

(2) 姉妹都市：12都市

(日本) 北九州市

(中国) 上海市、昆明市、長沙市、重慶市

(韓国) 仁川広域市、釜山広域市

(タイ) バンコク都

(米国) クリーブランド、ローウェル

(ベラルーシ共和国) ミンスク

(セーシル共和国) ビクトリア

### 2 カンボジア王国

人 口：14.7百万人（2013年）

面 積：18.1万平方キロメートル（日本の約2分の1）

言 語：クメール語

宗 教：仏教（一部少数民族はイスラム教）

通 貨：リエル（1円=38.86リエル（2016年7月28日時点））

主要産業：農業（GDP比30.5%）、工業（同27.1%）、  
サービス業（同42.4%）（2014年ADB資料）

名目GDP：約177億米ドル（一人当たりGDP 1,140米ドル）

在留日本人：2,270人（2014年10月現在）

在日カンボジア人：6,111人（2015年12月現在）

略 史：

年 月	内 容
1953年	カンボジア王国としてフランスから独立
1970年	ロン・ノルら反中親米派がクーデターによりシハヌーク政権打倒。王制を廃しクメール共和国樹立。親中共産勢力クメール・ルージュとの間で内戦。
1975年	クメール・ルージュが内戦に勝利し、民主カンボジア（ポル・ポト）政権を樹立。同政権下で大量の自国民虐殺。
1979年	ベトナム軍進攻でクメール・ルージュ敗走、親ベトナムのプノンペン（ヘン・サムリン）政権擁立。以降、プノンペン政権とタイ国境地帯拠点の民主カンボジア三派連合（クメール・ルージュの民主カンボジアに王党（シハヌーク）派・共和（ソン・サン）派が合体）の内戦。
1991年	パリ和平協定。

（出展：プノンペン都庁資料、外務省 HP より）